「京都で学ぶことの楽しさを実感してほしい」

『生涯学習』という言葉が身近になり、幅広い年齢層に向けた学びの場が増えてきました。〝街なかキャンパス〟として開設25周年、生涯学習の先駆けともいえる「佛教大学四条センター」の所長・西岡正子さんが、京都らしさを生かした施策に意欲的な京都府知事の山田啓二さんと対談。京都ならではの生涯学習についての話は、大いに盛り上がりました。

司会／京都リビング新聞社・山舗恵子

山田啓二さん
京都府知事。東京大学法学部卒業。趣味は歴史散策、ドライブ、スポーツ観戦、フェンシングなど。何事もやる気を重視する体育会系。座右の銘は『一期一会』

西岡正子さん
京都府立大学卒業後、アメリカ・インディアナ大学大学院で成人教育学修士課程修了ほか。佛教大学教育学部教授。佛教大学四条センター所長。京都生涯学習推進ネットワーク会長

ますます脚光を浴びている生涯学習の魅力と可能性

―佛教大学四条センターは、もう今年で25周年を迎えるんですね

西岡「佛教大学は、法然上人の教えに基づく大学です。法然上人が町衆の中に入ってその教えを広めたように、学問を庶民のものにしたいという、佛教大学建学の精神にのっとり、当センターが開かれました」

山田「生涯学習という言葉も出てこない時期に、キャンパスを飛び出し、四条烏丸という京都のど真ん中に開設されたのは、まさに〝先見の明〟ですね」

西岡「創設者の水谷幸正理事長は、気軽に学べて心の問題にふれられる〝心のデパート〟を合言葉にしていました」

山田「心のデパートとは、いい言葉ですね。高齢化社会の今、セカンドライフをどうするか、退職後の生きがいをどう見つけるか。人生を充実させるという点において、生涯学習の必要性はグンと高まっていると思いますよ」

―〝第2の学生時代〟とも言えますね

西岡「生涯学習は社会を変える原動力になっていくと思います。学んだことをNPOの活動に生かすなど、社会へ還元してゆけば、人の成長がよりよい社会を創ることにつながります」

山田「日本の高度成長を支えてきた団塊世代の人たちが地域で活躍する時代になり、地域を豊かにする活動の礎となるのも生涯学習なんです」

―受講者の中には90歳代の方もいらっしゃると聞きましたが

西岡「はい。1歳から95歳まで！『あそびの寺子屋』など、親子で参加できる講座も長く開催させていただいていますし、他府県から通って来られる方も、かなりおられます」

山田「提供できる人と町がもつ魅力、その両方が必要です。京都は大学も多いし、先生方も豊富。学ぶ環境はそろっています」

―京都は古くから学生の街でしたからね

西岡「きちんとしたカリキュラムがあれば、人が集まり、継続できるのです。当センターは、おかげさまで受講者が増えています。所長になって驚いたのは、皆さんご自分で目標を立て、年間12回の連続講座もきちんと受けられていることです。レベルが高いなと感じます」

対談が行われた佛教大学四条センターで、集まった受講者の人たちと一緒に。やはり受講者の年齢層は幅広い

生涯学習を後押しするネットワークも充実

―西岡所長は『京都生涯学習推進ネットワーク』の会長も務めておられますね

山田「京都生涯学習推進ネットワークには、府内の市町村から大学、各種学校、民間カルチャーなど115団体が連携協力しています。インターネットや各地域にあるものを利用しながら、多様な講座を用意していますよ」

西岡「行政と民間、大学が互いに協力しながら、生涯学習を自分たちでつくるというところに、施策の新しさを感じましたね。NPOが参加しているのも良いことだと思います」

山田「どこからでもいつでも学べる『インターネット放送局』や、受講者がネット上で講師に質問ができる『京都eラーニング塾』もどんどん充実してきています。京都は、生涯学習のデパートです(笑)」

西岡「最先端のシステムだと思いますね。外に出にくい環境の方も、時間のない方も、インターネットを通じて世界が広がります」

山田「社会との接点がないと悩まれる主婦の方には、こういうシステムをぜひ利用していただきたい。子育てしながら家庭で学べる機会が増え、活動できる領域がものすごく広がっていることに気づかれるでしょう」

歴史や伝統、文化を実体験できるだいご味

山田「京都はすごく恵まれていると思うんです。例えば、1000年間、毎年行列が練り歩いた都大路を実感しながら、葵祭について学ぶことができる。教える先生も、生きた教材もいっぱいそろっている」

西岡「インターネットで知ったことを現地に行って確認するブレンディッド学習ができますものね」

山田「生涯学習が育つ土壌と条件がすべてあるわけで、京都はいわば〝生涯学習のパラダイス〟ですよ(笑)」

―京都に住んでいることを改めて喜ばないといけませんね

山田「われわれが進めている地域力再生の運動と生涯学習推進ネットワークが一体化すれば、京都の魅力がさらに増し、日本中から人が集まってきますよ。インターネットで学ばれた他府県の方が京都に来られ、名所旧跡以外にもスクーリングや伝統工芸などの実体験をされて帰っていく。これからも日本文化の実家として、京都を日本の生涯学習センターにしていきたい」

西岡「京都にはホンモノがありますものね。当センターでも、『老舗に学ぶ京の衣食住』など、京都の伝統についても積極的に伝えていきたいと考えています」

山田「単に保存するのでなく、クリエイトすることで新しい伝統や文化も生まれるのです。ホンモノをつくり出す場所が京都であって、遺産・遺跡にしてはいけない。この秋、京都をまるごと会場にした『知恵と力の博覧会』を開催しますが、箱物をつくることなく約800ものコンテンツが提供されます」

西岡「伝統的に、新しいものをどんどん取り入れてきた京都。生涯学習をきっかけに、京都がもっともっと元気になっていかないと」

◇　◇　◇

佛教大学四条センター
（下京区四条烏丸北東角　京都三井ビルディング4階）＝☎075(231)8004

山田知事と教育学者の西岡所長。笑いを誘うリラックスムードながら、京都という魅力的な街で学ぶことのメリットについて、熱い言葉が交わされました

佛教大学四条センター

佛教大学四条センター　生涯学習公開講座のご案内　2009年度・秋期

佛教大学四条センターは佛教大学が設置し、一般市民の皆様方に開放している生涯学習のための施設です。当センターの公開講座は、事前申込不要で受講いただけます。（一部を除く）

佛教大学四条センター開設25周年記念シンポジウム
学習と参画で拓く人生と社会

10月17日(土)　14:00～（受付開始、開場は13:00～）
14:00～ 記念行事、14:50～ シンポジウム
定員150名　※定員を超えましたらその時点で受付は終了させていただきます。

プログラム
挨拶：水谷　幸正（学校法人佛教教育学園理事長）
山極　伸之（佛教大学長）
シンポジスト：門川　大作（京都市長）
：大内あづさ（内閣府男女共同参画局推進課課長補佐）
：白石　克己（佛教大学教育学部教授）
司会・コーディネーター
：西岡　正子（佛教大学教育学部教授、四条センター所長）

老舗に学ぶ京の衣食住

各回土曜日15：30～17：00／年間9回開講
受講料：無料

10月10日	北野の里にこだわって･･･ 上七軒お茶屋大文字女将　今井貴美子
11月21日	つづれ織について 西陣織工業組合本綴振興委員会副委員長　中井　昭典
12月　5日	京の食文化と京名物いもぼう いもぼう平野家本家十四代主人　北村　眞純
平成22年1月9日	㈱象彦　代表取締役社長　西村　毅

※上記講座のほかにも、さまざまな分野、内容の講座を多数開講しています。
※詳しくは講座案内（無料）を請求いただくか、ホームページ（http://www.bukkyo-u.ac.jp/BUSEC/）をご覧ください。

万葉集の散歩道

講師：田中　みどり（佛教大学文学部教授）
各回金曜日15：30～17：00／毎月1回
受講料：1回1,000円

10月9日	四季の歌と旅の歌
11月6日	雑歌・相聞歌・挽歌
12月4日	ものに寄せて思いを歌った歌、譬喩の歌

能へのいざない －能でめぐる京都の史跡と文学－

講師：河村　晴久（能楽師〔観世流シテ方〕）
各回火曜日13：00～14：30／毎月1回・年間12回開講
受講料：1回1,000円

10月13日	小督
11月10日	通小町
12月　8日	小鍛冶

お問い合わせ／講座案内のご請求は
佛教大学四条センター　☎(075)231-8004
〒600-8008　京都市下京区四条烏丸北東角　京都三井ビルディング4階
京都市営地下鉄烏丸線四条駅・阪急京都線烏丸駅下車。※地下連絡通路21番口をご利用いただくと便利です。
※事務取扱時間／10：00～17：00
※日曜・祝日、大学の指定する日は休館
2012年 開学100周年